

アルツハイマー型認知症の進行を遅らせることができるかも!?

2023年秋、新しい薬が承認されました。

レカネマブ(商品名:レケンビ®)は、2023年9月25日に日本において「アルツハイマー病による軽度認知障害および軽度の認知症の進行抑制」の効能・効果で製造販売承認が得られた新しい薬剤です。

「認知症」とは記憶力障害を中心とした認知機能の低下を前提に、日常生活に支障を来した状態を指します。一口に認知症と言っても原因は様々です。今回、新しく承認された薬剤は「アルツハイマー型」が原因となった「軽度認知障害」と「軽度認知症」の患者さまを対象としています。

「アルツハイマー型」認知症は、脳内にアミロイドが蓄積して脳細胞が障害されてくるのが原因と言われています。2000年ごろから「アミロイド」が原因であることはある程度分かっていたのですが、効果があり、副作用が許容できる薬剤の登場は困難を極めていました。

世界中で様々な治験を重ね、昨年、アミロイドを除去する効果がある薬剤「レカネマブ」が登場いたしました。ただし適応となる患者さまは、まだまだ限定されています。

①対象となる患者さま

アルツハイマー型軽度認知症かアルツハイマー型軽度認知障害の方が対象。

つまり、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、脳血管性認知症など他の病型の方は使用できません。これらの判断をするために、MRIや高次機能検査(HDSR/MMSE や CDR)、脳血流シンチを受けていただく必要があります。そのうえでアミロイドがたまっているかの判断はアミロイドPET検査を受けていただきます(脳血流シンチとアミロイドPETの検査機器は当院にはなく、他院へ紹介させていただきます)。「軽度」であるかどうかは難しい判断ですが、物忘れにもとづく症状はあるものの、生活全般は自立している方が相当すると考えています。

②薬剤の効果

効果としては残念ながらアルツハイマー型認知症を治すわけではなく、進行を遅らせる可能性があると考えられています。

③治療内容

薬剤の効果をj得るためには2週間に一度の点滴治療が必要で、原則18ヶ月(1.5年)継続する必要があります。付き添いが困難、継続的通院が困難と予想される患者さまに対しては薬剤投与が難しくなります。また、副作用の出現で薬剤投与を中止する場合があります。

④注意事項

薬剤投与中、脳出血や脳浮腫などの副作用が起こることがあるため、定期的なMRI検査が必要です。したがってMRI検査が受けられない患者さまは薬剤使用の適応から外れてしまいます。

また、レカネマブは保険適応ですが、治療費が高額になることにも注意が必要です。(高額療養費制度の対象となる場合があります。)



以上のように、レカネマブによる治療を受けていただくためには、認知症の診療を専門とする医師の診断が必要です。

レカネマブによる治療をご検討中の患者さまは、認知症疾患医療センターへご相談ください。当センターではレカネマブの適応とならなかった患者さまでもこれまで通り、レカネマブ以外の薬剤や介護サポートを中心に、よりよい生活が維持できるようにサポートしてまいりますのでご安心ください。

済衆館病院 認知症疾患医療センターへのご相談は、
病院代表(0568-21-0811)までお問い合わせください。



副院長 認知症疾患医療センター長 伊藤 隆

お知らせ

2024年8月より 特発性正常圧水頭症(iNPH)の専門外来を開院いたします。
第1・3月曜日 15:00~15:30 完全予約制のため、ご不明な点は脳神経外科外来にご相談ください。

→ 次号は「眼科疾患について」です

- 7月1日(月)~7月31日(水)「愛の血液助け合い運動」月間
- 7月6日(土)ワクチンの日
- 7月12日(金)人間ドックの日
- 7月14日(日)内視鏡の日
- 7月15日(月)海の日
- 7月17日(水)理学療法の日
- 7月24日(水)土用の丑の日
- 7月28日(日)日本肝炎デー
- 7月22日(月)~7月28日(日)肝臓週間

中村 草田 男 作

未来あり

今も沖には

玫瑰や



■ 第208号 2024.7月
■ 発行/済衆館病院広報委員会

医療法人 済衆館 済衆館病院
TEL.0568-21-0811(代表)

〒481-0004 北名古屋市鹿田西村前111番地
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp https://saishukan.com
FAX.0568-22-7494



当院は個人情報保護に積極的に取り組んでいます。